武　一　中

令和２年３月１９日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ１－１２号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

第73回 卒業式

校　長　　中嶋　建一郎

新型コロナウイルスへの対応で、短時間での卒業式となりましたが、滞りなく実施することができました。卒業生に向けたメッセージを紹介します。

卒業生の皆さんとの出会いは去年の４月です。１年間という短い期間ですが、皆さんと共に過ごせたことをうれしく思っています。特に修学旅行は、２泊３日、行動を共にすることで、皆さんと学年の先生方との関わりの深さを知ることができました。宿舎の大広間での食事では、毎回、当番の「いただきます」が楽しく行われていたのを覚えています。また、薬師寺での笑いを誘う説法体験と南禅寺での叱られた後の座禅体験は大変印象深く記憶しています。私にとっても、忘れられない修学旅行です。そして、10月の終わりから始まった面接練習では、皆さんの進路に向けた真剣な考えや将来の夢を聞くことができました。皆さんは、これから、あの時に聞いた話を実現していくのだろうと期待しています。

さて、ここで卒業に向けて、私が出会った一冊の本を紹介します。一中の図書館にも置いてあったので皆さんの中にも読んだ人がいるようです。

アンジェラ・ダックワースというアメリカのペンシルバニア大学の心理学の教授が書いた「Ｇ・Ｒ・Ｉ・Ｔ・グリット　やり抜く力」という本です。英語の「グリット」は「やり抜く力」という意味です。この教授は、研究を進め「人生で何を成し遂げられるかは、『生まれ持った才能』よりも『情熱』と『粘り強さ』つまり『やり抜く力』によって決まる可能性が高い」ことをつきとめました。皆さんも中学３年間の中で、授業や部活動など様々なことを通して、「やり抜く力」を身につけてきたことと思います。この「やり抜く力」を持っている人の特徴は４つあります。興味・練習・目的・希望を強く持っていることです。自分のやっていることを心から楽しむ「興味」。昨日よりも上手になるように日々の努力を怠らない「練習」。自分のやっていることは重要だと確信する「目的」。困難に立ち向かうための「希望」。この４つのことを高めていくことで「やり抜く力」も高められるようです。また、人生で大切なのは、試合に勝つことやお金持ちになるような成功だけではありません。人は誰でも幸せになりたいはずです。幸せと成功はつながっていますが、同じものではありません。この本には、「やり抜く力」が高いほど「幸福感」も高いことが研究結果として示されています。

皆さんのこれからの人生で、何かを成し遂げるために、また、幸せをつかむためにもこの「やり抜く力」に注目して、高めていってほしいと思っています。